

2017年

4月号

## 青雲会会報

平成29年度

## 青雲会総会のご案内

## 講演会のテーマ

激動の世界情勢と日本の進路  
— 日本、関西、大学はなるのか

講師 関西学院大学副学長、関西学院理事 神余 隆博 氏(20期)

## 日時

平成29年7月15日(土)  
午前10:00開会10:00 - 10:45 総会議事  
10:50 - 11:50 講演  
12:00 - 14:00 懇親パーティー

## 会費

9,000円

(周年記念:7,000円、卒業後5年以内:3,000円、学生:1,000円)

(注)◎周年記念 10年:55期、20年:45期、30年:35期、  
40年:25期、50年:15期、60年:5期の会員です。

◎卒業後5年以内:2013年3月~2017年3月卒業の会員です。

ご出席の方は、会費の前納をもって申込みとさせていただきます。

同封の払込み用紙をご利用ください。

■払込み期限 6月30日(金) [必着]

## 場所

大阪新阪急ホテル 2階「紫の間」

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35  
TEL 06-6372-6510

JR「大阪駅」、阪急・地下鉄「梅田駅」から徒歩すぐ。

TEL 06-6372-5101 (ホテル代表)

## 講師

しんよ たかひろ  
関西学院大学副学長、  
関西学院理事 神余 隆博 氏昭和25.1 誕生  
43.3 香川県立丸亀高等学校卒業  
43.4 大阪大学法学部入学  
46.9 外務公務員採用上級試験合格  
47.3 大阪大学法学部卒業  
47.4 外務省入省  
48.6 ドイツ・ゲッティンゲン大学留学  
スイス、中国、ドイツの各日本大使館勤務  
平成元.3 外務省国際連合局軍縮課長  
3.12 同国際連合局国連政策課長  
5.8 文部教官 大阪大学教授  
8.4 在ドイツ日本国大使館 公使  
11.8 外務省欧亚局 審議官  
13.1 同欧州局 審議官  
14.1 在デュッセルドルフ日本国総領事館 総領事  
17.1 外務省 国際社会協力部長(大使)  
18.8 国際連合日本政府代表部 特命全権大使(次席常駐代表)  
20.7 在ドイツ特命全権大使  
24.3 外務省退官  
24.4 関西学院大学 副学長  
28.4 関西学院理事

## 青雲会会長 ご挨拶



会長 内藤 欣也 (29期)

本年度より、初谷勇前会長から青雲会の会長を引き継ぎました内藤欣也です。昭和50年度の入学ですが、卒業期は29期になります。昨年末に、会長就任への打診をいただいた際は、優れた諸先輩が多数おられることや、今まで青雲会にはほとんど関与した経験がなかったことから、固辞させて頂いておりましたが、森信静治元会長、三木秀夫元会長から強引とも思えるご説得を受け、お引き受けするに至りました。お引き受けした以上は、誠に微力ではありますが、青雲会の発展のために寄与したいと考えております。

私は、昭和61年に青雲会の大先輩である故鎌倉利行弁護士のもとで、弁護士としてのキャリアをスタートさせました。当時、鎌倉法律事務所にはやはり青雲会の先輩である山崎優弁護士、檜垣誠次弁護士が在籍しておられましたので、阪大法学部の出身であることを強く意識する環境で育ちました。その後、鎌倉先生のご縁で、大学本部内に設置された法務室の連携弁護士や、法学部外部評価委員、さ

らには大学法人の非常勤監事を務めさせて頂きました。

今回、会長をお引き受けするにあたって、初谷前会長からは懇切丁寧な引継ぎをいただきました。本紙面をお借りして、改めてお礼を申し上げます。この引継ぎの中で、青雲会の活動が親睦の枠を超えて多岐に亘っていることを知るに至り、お世話頂いている副会長・幹事の皆様のご尽力に感謝の念を抱いた次第であります。一方で、青雲会の課題についてもレクチャーをいただきました。初谷前会長の問題意識を引き継ぎ、課題の克服に向けて智恵を絞り、また汗をかきたいと思っております。皆様には何卒ご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

すでに申し上げたとおり、青雲会に関与することが少なかった私ですが、これを機会に新たな世界が広がることに大きな期待感をもっています。この期待感を、多くの皆様と共有することが出来れば、これに勝る喜びはないと思います。青雲会に多数ご参加くださいますようお願い申し上げます、はなはだ簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長  
大阪大学法学部長

林 智良

青雲会会員の皆様につつしんでごあいさつを申しあげます。名誉会長の林智良でございます。会員の皆様には、日頃から大阪大学法学部・大学院法学研究科での教育研究にご理解とご支援を賜りまして心より感謝申しあげます。

就任後の1年で、青雲会の総会や幹事会などに出席して皆様の活発な御活動を身近に目にすることができました。例えば昨年5月の田口真司スペシャルライブには、若手交流会の位置づけながら年齢を偽って参加し、その場を堪能いたしました。さらに、囲碁同好会や青雲塾などさまざまな形で相互の親睦を図られていることを知りました。若い世代が新しい試みをされると共に、多くの年代の方が青雲会を通じてつながられていることに深い感銘を受けました。青雲会は勤め先とも家庭とも異なる、貴重なつながりを提供されていると思います。

現在の大阪大学は、卓越した知の世界的拠点としての指定国立大学法人に指定されるべく全学的に取り組んでおります。そしてその過程で人文社会科学部門はその存在意義を絶えず問われております。ただ、社会の各界で活躍されてい

る幅広い年代の皆様の存在、その固い絆こそが阪大法学部の宝であり、現役学生・教職員の精神的なよるべであると確信致します。国立大学は財政的に厳しい状況にあります、どうか今後ともご支援とご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## 国際公共政策学科長 ご挨拶



国際公共政策学科長  
大久保 邦彦

### 法学部のこれから…

国際公共政策学科は今年で10周年を迎えます。相変わらず元気な学生たちは9/16(土)に国共10周年記念大交流会を計画しています。法学部人気が衰える中でも国共の人気は高く、昨年度の前期入試では法学科と最低合格点で25点ほどの差が付きました。今年度は全国的に法学部人気やや回復したこともあり、法学科の受験生は5割増し、最低合格点もほぼ同じでした。

昨年度は副学部長・国共学科長として青雲会総会や若手交流会に参加し、国共卒業生のシンガーソングライター・田口真司くんのライブを聞いたり、私の高校の同級生やもずやんのおねえやん、その他たくさんの人にお会いできて、楽しいひと時を過ごすことができました。

2016年はBrexitにトランプ政権の誕生で歴史的な年になりました。日本も少子高齢化・人口減少という歴史上初めての事態に直面しています。先の見通せない時代だからこそ人文社会科学の知が必要なはずですが、「国立大学文系不要論」も台頭しています。大学が社会的課題の解決のために十分貢献してきたかと問われたとき、エビデンスを示してYesと答えることは、確かに難しいでしょう。しかし、各界で活躍されている卒業生の皆さんにお会いすると、社会を動かしているのは法学部出身者であることを実感します。阪大でも、社会ソリューションイニシアティブというシンクタンクを設置します。社会科学の火を絶やさないためにも、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 高等司法研究科長 ご挨拶



高等司法研究科長  
下村 眞美 (32期)

### 逆風に立ち向かう

これまで高等司法研究科は、「学生第一主義」「3つのS」「3つのS+2つのB」を掲げ、「新時代を担う、真のLegal Professionalsの育成」を目標として533名の司法試験合格者を輩出してきました。しかし、いろいろな要素が重なり、法曹志望者は激減し、法科大学院制度に対する逆風が吹き荒れています。そのため、社会人・他学部出身者のための特別選抜入試に加えて、一般選抜入試についても東京会場を設け、また、二次募集も実施しましたが、残念ながら今年度も入学者数を定員まで回復するには至りませんでした。

このような中でも、本研究科は、「法科大学院公的支援強化・加算プログラム」において、昨年度と同じ25%の補助金の加算を得ることができました。特に、法学部の今年度入学者から、早期卒業制度が適用され、法学部入学から5年で本研究科を修了できるようになったことが評価されました。今年度は、外国語学部やさらには理系学部との関係も強めてゆき、入学者数、司法試験合格率の回復に努めてまいります。

本研究科は、大阪大学唯一の専門職大学院ですので、教育・研究はもちろん、大阪大学のコンプライアンスに対する信頼回復のためにも励んでまいりますので、これからもご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



祝賀会風景



合格者自己紹介

## 2017年 阪大法曹会

昨年よりの司法試験合格者総数の減少、法科大学院入学希望者の減少と法曹界全体を取り巻く環境が大きく変化いたしております。

そのため当会としては阪大法科大学院に今一層の支援を強化いたします。具体的には次のような活動を行います。

### 1. 高等司法後援基金を通じ新講座の開設

昨年11月より 27人の若手会員の協力のもと「法律文書錬成講座」を新しく実施いたしました。

### 2. 必要資金の援助

本年度は後援基金に80万円寄付予定。

### 3. 平成28年10月14日恒例の司法試験合格祝賀会を開催いたしました

これに先立ち若手弁護士さんによる就活支援懇談会にもぎやかに行われました。

# 平成28年度 総会報告

**日時** 2016年7月16日(土) 10:00開会  
**場所** ホテルグランヴィア大阪21階「名庭」  
**講演** テーマ「University 4.0 への挑戦」

**講師** 第18代大阪大学総長 西尾 章治郎氏

平成28年度の青雲会総会は、2016年7月16日(土)、ホテルグランヴィア大阪「名庭」で、第18代大阪大学総長・西尾章治郎先生をお迎えし、総数100名の皆様のご出席をいただき、盛会裡に開催されました。

## 1 総会議事 (10:00-10:45)

会長挨拶で、初谷勇会長は、同窓会が共同体として縦の関係を尊重しつつ、新たな横の関係を充実させていくことに積極的な期待を述べられました。来賓祝辞で、林智良名誉会長は、法学部・法学研究科が直面する課題とさらなる発展の方向性を展望されました。

平成27年度会務・会計報告では、会長から、組織強化・会員拡充、新たな連絡・交流促進、人材育成支援の重点3項目に沿って報告されました。松本綾会計監査から平成27年度会計監査報告があり、いずれも承認されました。平成28年度事業・予算報告では、交流、支援、広報・情報発信、会員拡充・組織強化の推進について会長が報告し、承認されました。大学報告で、長田真里大学幹事は、青雲懸賞論文の盛況、学事暦の変更を紹介、学生・院生の多様性を尊重して後方支援を充実させたいと抱負を述べられました。

## 2 講演 (10:50-11:50)

西尾章治郎総長から「University 4.0 への挑戦—大阪大学の現況—」と題し、ご講演をいただきました。冒頭、大学附属図書館の中田厚仁(40期)

記念文庫に言及され、2015年の総長就任以来、執行部への参画や法律顧問など法学部関係者による様々な支えに謝意を述べられました。

ご講演では、阪大の系譜を踏まえ、2015年策定の『OUビジョン2021』に基づく熱のこもったお話を頂きました。教育研究のOpennessを鍵とした運営、産学官連携の一層の強化により、「世界屈指の研究型総合大学へ—知の協奏と共創—」を目標として、組織内外の厚い「壁」を取り払い、「大学の知を広く世のため、人類社会の幸福のために開放」していきたいと宣言。2021年の大阪大学創立90周年事業として、箕面キャンパス移転構想、中之島キャンパス再開発事業(「中之島アゴラ」構想)等への取組みを紹介され、「大学の発展のために、『大阪大学ファミリー』の絆をますます広げ、ともに邁進していきたい」との決意で結ばれました。

## 3 懇親パーティー (12:00-14:00)

懇親パーティーは、西尾総長もご出席のもと、安藤弘幹事(6期)の乾杯で始まり、まず、学生12名が登場、自己紹介。青雲会の新しい息吹を感じることができました。次いで、西畑一哉東京支部長と中嶋利幸名古屋支部長から支部活動報告。その後、平成27年度青雲懸賞論文受賞者を紹介。後友香さん(64期)から佳作受賞のご挨拶をいただきました。今年卒業後60年、40年、30年を迎えた5名の会員の紹介とご挨拶、今回、総会会場初展示の歴年の大阪大学卒業アルバムに、改めて法学部と青雲会の年輪を感じさせられました。

後半は、新趣向の「条文ビンゴ」で盛り上がり、当選者全員の一言メッセージは、世代を超えて顔と名前を知り合うきっかけとなりました。盛会のうちに中締めとなり、山本茂伸副会長により恒例の大阪締めを披露してお開きとなりました。



阪大のビジョンを語る大阪大学総長  
西尾 章治郎先生



法学研究科、法学部在学生の皆さん



周年の会員:右から塚口(4期)、森信・片岡(24期)、  
中川・戸田(34期)の5氏

## 《2016年度 青雲懸賞論文》

1996年度に青雲会40周年記念事業として開始された懸賞論文は、2010年度から1席論文が『まちかね法政ジャーナル』(法学会)に掲載されることとなり、1年生対象の新人賞も設けられました。2014年度からは法学部との共催事業とし、法学部教務委員会による第一次審査体制を通過した応募論文について、青雲会の審査委員4名が第二次審査の上、最終審査結果を発表、卒業式で表彰式を行っています。

第21回にあたる2016年度は、23編の応募があり、厳正な審査の結果、下記のとおり決定しました。各受賞論文は、青雲会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



2016年度 青雲懸賞論文 受賞者の皆さん

- 1席** 大森 亮、梶芳 英(国際公共政策学科4年)  
「多民族国家における帰属意識—国家の恩恵による国民意識の形成—」
- 2席** 石田 勇輝、瀧本 幹太、渡眞利 駿太、日田 将大(国際公共政策学科2年)  
「小国の民主化~少なさど弱さがもたらす自由~」
- 佳作** 宇多 鼓次朗(法学科3年)  
「幸福追求権の検討—純粋法学に寄せて—」
- 佳作** 猪口 皓平(法学科4年)  
「消費税を巡る各内閣対応の比較研究について」
- 新人賞** 大澤 嘉騎(法学科1年)、白木 亮太郎(国際公共政策学科1年)  
「高齢者による地域貢献活動参加への障壁と解決策~包括的な学び舎の構想~」

# 若手交流会報告

副会長 嶋津 裕介 (45期)

## 「田口真司スペシャルライブ」



シンガーソングライター 田口 真司さん



スペシャルライブ参加者の皆さん

概ね50歳未満の会員対象の若手交流会、2016年度より本格的に実施しています。

春の第1回は、2016年5月17日(火)、大阪市福島区の「ほたるまち」、堂島リバーフォーラムのライブハウスレストラン「中之島ダイニングRed & Blue」にて、「田口真司スペシャルライブ」を開催しました。田口さんは青雲会会員(2012年卒業、国際公共政策学科1期生)の、プロのシンガーソングライターです。田口さんの、のびやかで心に迫る歌声に聞きほれました。最初は田口さんも参加者も緊張していたのですが、次第にノッてきて、素敵なライブになりました。

秋の第2回は、11月22日(火)、「豊中キャンパスで講義を受けて、石橋『ごん兵衛』に繰り出そう」ツアーを開催しました。青雲会大学幹事の高橋慶吉・大阪大学大学院法学研究科准教授の講義、「日米同盟について考える—2016年アメリカ大統領選を踏まえて—」を豊中キャンパスで聴講しました。トランプ氏が大統領選挙で勝利した直後で非常にタイムリーなものとなりました。久々のアカデミックな講義に引き込まれ、大いに勉強となりました。その後、阪大坂を降りて、懐かしの居酒屋「ごん兵衛」で二次会を開き、旧交を温め、また新たな出会いを楽しみました。

青雲会では今後も、趣向を凝らして若手会員対象のイベントを開催していきます。どうぞご参加ください。

## 「豊中キャンパスで講義を受けて、石橋『ごん兵衛』に繰り出そう」ツアー



高橋 慶吉先生の講義



「講義+ツアー」参加者の皆さん

## 平成28年度卒業式・卒業修了祝賀会

### 2016年度卒業生の皆さん



2017年3月22日(水)、卒業式があり、法学部法学科より173名、国際公共政策学科より87名、計260名、法学研究科より37名の合計297名が卒業・修了されました。

法学部卒業式では、2016年度の「青雲懸賞論文表彰式」が行われ、1席、2席、佳作、新人賞受賞の皆さんに青雲会会長から表彰状と賞金が授与されました。

青雲会主催による卒業修了祝賀会では、林法学部長の祝辞と大久保国際公共政策学科長の乾杯で懇談に入りました。

出席者数は先生方を含め182名に上り、当日の運営は法律相談部、法学研究会、国際法学研究会、交渉学研究会、公共政策研究会の五つの法学部公認サークルに所属する学生の皆さんが担い、軽妙な司会進行で今年も賑やかにビンゴゲームが行われました。また、飲み物(ビール)をサントリーグループの(株)ダイナックにご寄贈いただきました。



## ● 青雲キャリア支援基金活用事業 ●

2014年度に創立60周年記念事業の一環として「青雲キャリア支援基金」が設立されました。2016年度は、同基金活用事業として、「法学部生のためのキャリア形成支援講演会」やキャリアデザインに役立つ冊子の発行など在校生支援を図る事業を実施しました。



### 2016年度法学部生のためのキャリア形成支援講演会

2016年10月25日(火)4時限(14:40~16:10)、豊中総合学館402講義室において、西岡志貴弁護士(東京六本木法律特許事務所、大阪大学大学院高等司法研究科修了)による「法学部生のためのキャリア形成支援講演会」を開催しました。

テーマは「希少価値のある人材になろう」。

阪大工学部、関西学院大学法学部を経て阪大大学院高等司法研究科を修了、司法試験に合格した講師自身の実体験に基づき、法曹資格に加え、弁理士試験、英語検定1級、情報処理技術者試験など、複数の資格を計画的に取得していくことで、個々の資格の保有者の割合(100人に1人など)を乗じて考えれば、100分の1×100分の1=10,000分の1というように、類のない希少価値のある人材になっていくこと、その結果、様々な専門知識を要するグローバルで領域をまたがる問題に対しても、余人にはなし得ない複眼的、多角的な問題解決能力を身につけることができ、傑出した存在になり得ることを力強く語られました。

西岡氏の講義には、活発な質疑が相次ぎ、参加した法政基礎セミナー受講者(2年生)約90名に強い印象を与えたことがうかがえました。



受講生から多数の質疑



講演する西岡志貴氏



### キャリアデザイン・データベース

学生支援室長 名津井 吉裕

学生支援室は、学生のキャリア形成支援、修学環境の整備を目的とした組織として、様々な事業に取り組んでいます。前者に関する事業の一つとして、キャリアデザイン・データベースを構築して学生の利用に供する取組みがあります。2013年度から毎年3月に刊行している『皆さんのキャリアデザインのために～先輩方の活動体験記』が、ことしも出来上がりました(1000部発行)。この小冊子は、卒業後の進路を決めた4年生が、自身の就職活動・進学準備等の体験記と後輩へのメッセージを綴ったレポートの一部を、学生支援室が取りまとめ、演習型の授業や講演会において法学部生に配布しているものです。2017年3月版の小冊子には、執筆依頼や原稿の収集に協力してくれた5名の学生編集委員を含む7名分の体験記が掲載されています。他方、本体のデータベースには、毎年30~50人の体験記が新たに追加され、学内のウェブサイトですべて閲覧できるようになっており、2017年4月現在、192名分の体験記が掲載されています。

上記の小冊子の印刷費用は、2016年度から、青雲キャリア支援基金によって賄われています。また、2016年度から、より多くの体験記を収集してデータベースの充実を図るため、体験記を執筆してくれた学生に対し、謝礼(1000円の図書カード)を進呈する取組みを開始したところですが、その費用にも青雲キャリア支援基金が活用されています。



『皆さんのキャリアデザインのために  
～先輩方の活動体験記』

# “青雲塾”へお待ちしております!

副会長(青雲塾担当) 松井 繁幸 (23期)

青雲会会員のほか、会員の紹介のあった人もご参加大歓迎です。講師の自薦・他薦、企画の持ち込みも。事務局から案内をお送りしますので、ぜひ、ご連絡ください。次回の案内もホームページをご覧ください。過去の実績も掲載しています。

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>

2016年度の開催内容をご紹介します。

## 第52回 2016年 6月10日(金)

### 『難波戦記』 きよどう なんかい 旭堂 南海 先生(上方講談師)

「今年の大河ドラマで話題となっている真田信繁(幸村)は、江戸時代から講談で有名になりました。しかも大阪のヒーローとして徳川家康をコテンパンにするという筋立てで。一体、当時の大阪人は信繁にどのような思いを託していたのでしょうか。当日は、幸村大活躍の物語「難波戦記」をご披露させていただきます。」(講師から)

改めて、古典から新作、書生館に名建築ツアー、企業物語と幅の広さに驚きます。



「難波戦記」を語る南海先生の高座姿

## 第53回 2016年 9月19日(月)

### 『昔の大坂を知る～古地図をどう調べるか』

倉光 弘己 先生(大阪自由大学 学長)

「皆さんが気楽に歩ける梅田、堂島界隈の古地図、陸軍測量部の地図、現代地図の三枚を持って歩けるような入門編を考えてみます。今の町並みに古い道が残っていることを知って頂いて、帰りにでも歩いて頂ければ、今までと景色が違って見えるかも知れないと思ったのです。」(講師から)

古代、上町台地の東は生駒山まで河内湖だったことから説き起こして、明治19年帝国陸軍測量部測量地図と現代の地図の曾根崎新地、梅田界隈の比較を中心に、会場の大阪大学中之島センターの昔はどんな姿だったか、曾根崎心中のルートを含め、倉光先生独自の切り口で、新旧大阪の姿がくっきりと浮かび上がってきました。



古地図を披露する倉光先生

## 第54回 2016年 12月11日(日)

### 『日本のエネルギー市場の特質』 山藤 泰 先生(YSエネルギー・リサーチ 代表)

「電力、都市ガスは、これまで消費者が選択できるものではなかった。だが、電力に続いて、都市ガスも全面自由化が始まる。消費者は、誰がどのようにして供給するものかを知っていなければ、事業者選択をうまくすることはできない。エネルギー市場が育ってきた歴史的な経過も含めた情報を提供したい。」(講師から)

欧州・米国の実情を豊富な資料で比較しながら、わかりやすく、日本のエネルギー市場の実像に迫りました。日頃、手軽に使っていながら、あまり深く考えることのなかったエネルギーについて、世界の大きな流れの中で、問題意識を突き付けられた思いがします。



懇親会でも参加者と語らう山藤先生

## 第55回 2017年 3月19日(日)

### 『漱石・関西巡回講演の謎』 恩田 雅和 先生(天満天神繁昌亭 支配人 オダサク倶楽部 顧問)

「漱石生誕150年で、全国各地でイベントがありますので、漱石と関西の関わりのお話でいかがでしょう。来られる方も少人数のようですので、漱石が関西で巡回講演した内容でほとんど誰も知らないことをじっくりお話しさせてもらえたらと思います。」(講師から)

今回の漱石の関西巡回講演は1911年8月13日から18日までで、明石、和歌山、堺、大阪をまわったときの様々なエピソードを丹念に調査・取材された貴重な研究成果を拝聴することができました。



漱石の足跡を板書する恩田先生

## 東京支部だより

東京支部長 西畑 一哉(27期)



## 東京支部 連絡先

〒160-0004  
 東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F  
 杉政静夫法律事務所内  
 TEL 03-3355-6575  
 FAX 03-3355-6576

青雲会(大阪大学法学部同窓会)東京支部長の西畑一哉です。1979年3月に法学部を卒業、日本銀行に入行し、主に人事関連や金融機関関連の部署で、バブル崩壊後の金融機関の監督や、合併・処理の仕事をして参りました。一昨年9月から東京九段にある二松學舎大学で仕事をしております。

青雲会東京支部の活動について報告いたします。昨年5月27日には、青雲会東京支部&東京待兼会合同講演会&懇親会が開催され、COP21パリ協定について、特命全権大使として交渉にあたってこられた堀江正彦氏に「地球温暖化とCOPの歴史」との題でご講演いただきました。堀江正彦氏は、1969年に経済学部、1973年に法学部を卒業され、外務省入省後、2011年から地球環境問題に携わってこられた方です。外交のリアルな裏話なども交えていただき、大変興味深いご講演でした。

また、昨年10月16日にも、青雲会東京支部&東京待兼会合同講演会&懇親会が開催され、西畑が「反社会的勢力の現状と問題点-金融機関との関係を中心に-」と題した講演を行いました。バブル崩壊後、反社会的勢力がどのように金融機関と関わったか、また、最近の反社会的勢力に対応する具体的な手法について、実例を挙げて説明しました。

なお、二松學舎大学では母校大阪大学(基礎工学部石黒浩教授)と協定を結び、「漱石アンドロイド」を作成しました。既に大学・高校・中学で、本人?による漱石作品の朗読・解説講義を行っています。また、受講した学生に年齢別・男女別の詳細なアンケート調査を行い、「アンドロイドに対する人間の受容性」の研究を進めています(既に男女別では受容性にかなり有意な違いが観察されています)。このプロジェクトは西畑が発案したのですが、二松學舎創立140周年特別

講演者を選定している際に「二松學舎OBの漱石先生が生きていれば講演をお願いするのに」と考えていたところ、2015年12月の「大阪大学の集い」で石黒教授のアンドロイド関連の講演をうかがう機会を得、また、漱石関連の資料を多数保持されている朝日新聞社の石田一郎ブランド本部長(大阪大学経済学部卒)とのご縁もあり、このプロジェクトを思いつき推進してきたものです。その意味で、母校大阪大学の同窓会の縁によって生まれたプロジェクトであり、こうした縁に心から感謝している次第です。

## 名古屋支部だより

名古屋支部長 中嶋 利幸(19期)



## 名古屋支部 連絡先

〒466-0812  
 名古屋市昭和区八事富士見1304  
 中嶋 利幸  
 TEL&FAX 052-834-0607

## 平成28年名古屋待兼会活動状況

名古屋では東海地方に在住の卒業生を対象として、経済学部同窓会と合同で、『名古屋待兼会』を運営しています。主な活動は2、4、6、9月の例会と11月の総会です。例会は、名古屋市内のホテルで行っており、約2時間半の会です。

はじめに同窓生が持ち回りで30分ショートスピーチを行っていて、昨年の例会では、『憲法大臣 金森徳次郎』、『日本の再帰性とクールジャパン』、『私の散歩道+?』、『マイナス金利下の資金運用』と、政経の話題からローカルなトピックスまで幅広い演題が提供されました。そして、スピーチの後は約2時間、食事とお酒を楽しみながら、出席会員の近況報告や懇談などで会員同士の交流というのが、例会の内容です。

また11月21日には総会を行い、大阪大学大学院経済学研究科長の堂目卓生先生にご出席賜り、母校の状況や文系学部を取り巻く環境などにつきお話し頂きました。

総会、例会には毎回、20~30人の会員に出席してもらっていて、本年も昨年同様の行事を実施する予定にしています。東海地方に在住の同窓生で、これまで参加をされていない方も是非ご出席を頂ければと思っています。ご参加希望の方は左記までご連絡を頂ければ、会の詳細をお送りしますので、よろしく願います。

また今年9月には名古屋で『大阪大学の集い』が開催される予定になっており、名古屋待兼会としても、できるだけの協力をしていくつもりでおります。詳しいことが決まりましたら、名古屋待兼会の連絡網でも展開しますので、ご都合のつくり限りご参加を頂きますようお願いいたします。

# 同 期 会 開 催 報 告

## 昭和29年入学同期会

例年に引き続き2017年も2月の第3木曜日(16日)に大阪梅田の関西文化サロンで開催いたしました。

全員がトックに80歳を超えている連中ばかりなので、アチコチ体の部品が痛んできているのは仕方ありませんが、それでも東京からの参加を含め17人が元気な顔をみせてくれ、近況報告やら60年も前の大昔?の話やら、2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

今後も引き続き開催することを約して散会しました。

芳村 昭宏(6期)



## 昭和41年入学同期会

昭和41年入学同期会は「夕々の会」と称して毎年5月及び11月の最終金曜日に開催してきました。

今回は前回5月の例会で変貌著しい石橋キャンパスを半世紀振りに訪れて、懐かしく昔話をしてみようと提案され、全員の賛同を受け企画されたものです。

11月25日(金)第1部として午後2時に総合博物館前に15名が集合し、先ず大学会館セミナー室で案内役の黒田が本日の予定の説明をして、5階の来賓室から見学を開始し、法経講義棟や法経研究棟、豊中総合学館等を順次巡って行きました。

第2部は午後4時30分から「がんこ池田石橋苑」で19名が参加して懇親会を堪能し各自がスピーチして近況等を報告しあい話が尽きることがありませんでした。

なお来年5月の例会は月末を避けて5月19日(金)とすること決まりましたので、ご予約をお願いします。

黒田 嘉次郎(18期)



## 昭和47年入学同期会

2016年12月17日(土)13時から大阪駅前のヒルトンプラザ内「たちばな」で恒例のS47年入学者の同期会が開かれました。

今年は36名が参加しました。北は仙台、南は和歌山から駆け付けた参加者は昔を懐かしみながらも現在打ちこんでいることや関心を持っていることなど披露してお互い刺激あいました。

来年は各自が同期生に声をかけて、参加者を増やしていきたいとの意見も出ました。

次回は大阪では2018年2月11日(土・祭日)午後。東京では2017年6月17日(土)夕方行う予定です。

今回集まれなかった方も参加ください。

幹事は1組梅原、2組西尾、3組渡邊、東京幹事鈴木です。

鈴木 浩(24期)



# 久 貴 先 生 を 囲 む 会

久貴忠彦先生のゼミの同窓会(久貴会)は、先生が現役教授の時から、ほぼ毎年開催され、1994年に御退官された後も2年程度ごとに開催されています。例年40人程度の集まりですが、常連も多く、少し間が開くと幹事(二宮周平立命館大学教授、犬伏由子慶應義塾大学教授、床谷文雄)のところに、「次はいつ?」という声が聞こえてきます。

御退官記念パーティーのときや、古希のお祝いを兼ねた『遺言と遺留分』全2巻(日本評論社)の刊行記念の会(2003年)では、いつもよりたくさんの方のゼミ生が参集しました。昔の写真をスライドで映したり、久しぶりに先生に講義をしていただいたりもしました。直近は、2016年3

月でしたが、添付の写真は少し前に(2010年3月)開催したときのものです。もう教え子が定年を迎える年になっても、「先生はいつまでもダンディーでおかわりがないなあ」という声が飛び交います。

昔は「司法試験にあまり出ない」といわれた家族法のゼミですが、会代表の大塚明弁護士をはじめ法曹関係者もたくさんいます。会社員、公務員、研究者など日々の仕事は様々ですが、久貴先生を囲むと心だけは「あの頃の私」に戻ることができます。

床谷 文雄(25期)



## 同期会の開催支援

青雲会は皆様方の同期会の開催を支援しています。

- ・ 入学同期の会員情報の基礎データを提供いたします。
- ・ 同期会幹事の方は事務局にご一報ください。
- ・ 同期会の開催案内と開催結果報告をHPに掲載します。
- ・ 新判明会員情報を事務局にご連絡願います。

## 青雲会囲碁同好会のご案内

気楽な雰囲気です。みんな囲碁を楽しんでいます。高段の方も級位の方も幅広くいらっしゃるので、ぜひ参加して、交流や棋力の向上を図ってください。

### 定例会

◎燦碁会(経済学部OBの囲碁同好会)と合同で行っています。

日時:2月、5月、8月、11月の第三土曜日13:00~17:00

場所:囲碁倶楽部 爛柯(席料:2,000円)

阪神・阪急梅田駅、地下鉄梅田駅、JR大阪駅・北新地駅より徒歩5分  
大阪府大阪市北区梅田1-1 大阪駅前第3ビル17F爛柯(らんか)

TEL/FAX 06-4796-4115 HP:<http://igoclubranka.web.fc2.com/>



1月に新年囲碁会(全大阪大学)、7月に囲碁大会(青雲会囲碁同好会)、秋に現役大学生との交流戦などを開催しています。大会のみでも奮ってご参加ください。

お問い合わせは 幹事 銭尾 正和(ぜにおまさかず)まで TEL:080-7035-9285 メール:[tennohikarihasubetehoshi@hotmail.co.jp](mailto:tennohikarihasubetehoshi@hotmail.co.jp)

## 活躍する卒業生

### 『運送の現場と向き合って』

平成8年に当時の運輸省に入省して以来、そのほとんどを本省のある霞が関で過ごし、主に政策・予算などの企画立案業務や国会対応などに従事してきました。昨年7月、初めて現場に出る機会を頂き、近畿2府4県のバス、タクシーの旅客運送事業とトラックの貨物運送事業を所管する部署に着任し、現在、昨年1月に発生した軽井沢スキーバス事故を受けて策定された再発防止策の実施のほか、需要低迷で苦しむタクシー事業の活性化に向けた取り組みやトラック運送の取引環境や労働時間の改善などに取り組んでいます。

国土交通省の地方組織である運輸局は、本省の決めた方針に従って業務を遂行するのが原則ですが、実際には、本省の方針通りに物事が運ばないことも多く、関係者と十分にコミュニケーションを取りながらケースバイケースの柔軟な対応が求められることも少なくありません。その場合、基本に立ち返り、本来の行政目的や考慮すべき当事者の利益、予想される事後の展開などを考

国土交通省近畿運輸局  
自動車交通部長

大辻 統(44期)



えながら方針を決めなければなりません。私の判断で現場の対応も大きく変わってくるため(時には事業者への行政処分や行政指導を伴うこともあります。)、職責の重さを日々痛感しています。

最近、人口減少・高齢化の進展により、過疎地域における公共交通の確保・維持や運送事業の担い手となる人材不足の解決など難しい課題も抱えておりますが、人とモノを運ぶ運送事業は、国民の社会生活や企業の経済活動を下支えしている重要な産業であることを肝に銘じ、これからも真摯に取り組んでいきたいと思っております。

### 『イタリアでの小さな挑戦』

Piacere! 私は今、SEWS-Cabindという住友電気工業(株)のイタリアにあるグループ会社で、「トレーニー」として仕事をしています。

少し私の経歴をお話しますと、2012年に住友電気工業株式会社というB to Bの電線(を中心とする)メーカーに入社し、それ以来ずっと人事の仕事をしてきました。

元々人材育成に興味があった私にとって、人事は願ったりかなったりの仕事だったのですが、入社してから一貫して私にはある思いがありました。それは、「できるだけ早く、海外での業務経験を積むこと。」弊社は売上の半分以上を海外売上げが占めており、人事として現地の状況を理解することは必要不可欠だと考えていました。また、出産や介護等で仕事から長期間離れる可能性を考えると、融通が効く今の内に、できるだけ早く海外経験を積みたかったのです。キャリアの貯金をしておきたかった、と言い換えても良いかもしれません。

弊社には「海外トレーニー制度」という、若手社員を海

住友電気工業株式会社  
人材開発部

グローバル企画グループ

辻 理生(60期)



外関係会社へ送って武者修行をさせるという制度があり、ずっと上司にその制度を利用したい旨伝えてきました。そして、今回念願叶い、3ヵ月という非常に短い期間なのですが、イタリアへ来ることができたのです。

赴任してからは、毎日新しい学びの連続で、非常に刺激的な日々を過ごしています。

人から聞いた話ではなく、肌感覚として色々なことを吸収できているのは、大きな財産です。ここで学んだことを、日本へ帰ってからしっかり生かしていきたいと思っております。

# 平成28年度青雲会行事等報告

月	日	曜	行事等
<b>2016年</b>			
4	1	金	大学院高等司法研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館401講義室) 大学院法学研究科オリエンテーション(於:豊中総合学館501講義室)
	5	火	法学部1年生オリエンテーション(於:豊中総合学館301講義室)
	15	金	第1回幹事会(於:青雲会交流センター)
5	1	日	2016年度青雲会会報発行
	17	火	第1回若手交流会(於:中之島ダイニングRed & Blue)
6	10	金	第52回青雲塾(於:備後町クラブ)
	10	金	第1回青雲キャリア支援基金運営委員会(於:青雲会交流センター)
	23	木	第2回幹事会(於:青雲会交流センター)
7	16	土	青雲会総会(於:ホテルグランヴィア大阪)
8	31	水	新拠点検討拡大ワーキング(於:ガーデンシティクラブ大阪)
9	16	金	司法試験合格者祝賀会(於:大阪大学会館)
	19	月	第53回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
	23	金	第3回幹事会(於:青雲会交流センター)
10	16	日	東京支部総会(於:日本教育会館「喜山倶楽部」)
	25	火	法学部生のためのキャリア形成支援講演会(於:豊中総合学館402講義室)

月	日	曜	行事等
11	1	火	青雲懸賞論文募集開始(2017年1月20日締切)
	8	火	文系学部同窓会幹事合同懇談会(於:ホテルグランヴィア大阪)
	19	土	名古屋支部総会(於:ローズコートホテル)
	22	火	第2回若手交流会(於:豊中総合学館L5講義室 & ごん兵衛)
12	2	金	第4回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	11	日	第54回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
	31	土	青雲会交流センター(法曹ビル2階)閉鎖

<b>2017年</b>			
2	15	水	第5回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
3	10	金	青雲懸賞論文審査結果発表
	19	日	第55回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
	22	水	卒業式、青雲懸賞論文表彰式(於:豊中総合学館401講義室) 卒業修了祝賀会(於:豊中総合学館402講義室)

## 平成28年度決算報告と平成29年度予算(案)

(概要)

収入の部			支出の部		
項目	平成28年度 決算	平成29年度 予算	項目	平成28年度 決算	平成29年度 予算
会費収入	5,339	6,000	総会費	618	960
総会懇親会収入	618	630	会報・総会案内費	2,126	2,182
その他収入	204	165	ソフト保守費	389	390
			支部助成金	370	370
			ローヤリング助成金	200	200
			一般助成費	378	250
			懸賞事業費	270	270
			司法基金援助金	300	300
			青雲塾・部活動費	146	150
			若手交流会	78	200
			人件費	643	656
			その他経費	988	867
収入計	6,161	6,795	支出計	6,506	6,795

(単位:千円)		
収支差額	△345	0
前期繰越金	3,961	3,616
次期繰越金	3,616	3,616

\* 本案は総会でご審議いただきます。

## 青雲会からのお知らせ

### 同期会や同窓会を しませんか!

同期会や、恩師を囲んでのゼミ同窓会などの開催に会員管理システムをお役立てください。

- 入学年度での同期会の開催
- 出身ゼミごとの同窓会の開催
- 居住地やエリアごとの同窓会の開催
- 勤務先内での同窓会の開催
- その他にも、出身校や出身都道府県ごとの同期会、同窓会の開催にもご利用頂けます。

事務局まで  
お問い合わせ  
ください。

TEL:06-6850-5198  
メール:ishibashi@seiunkai.net

青雲会事務局 西尾 光代(30期)

### 退任ごあいさつ

2017年3月末日付で事務局長を退任させていただきました。  
2011年3月の東日本大震災が私の事務局のスタートとなりました。  
その後、青雲会創立60周年記念事業を経験させていただきました。  
貴重な経験をありがとうございました。6年もの長きにわたり、大変お世話になりました。皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

黒田 嘉次郎(18期)

### 新任ごあいさつ

本年4月から黒田事務局長の後を引き継いで、月、木の週2日事務局に勤めることになりました昭和57年(1982年)卒業、30期の西尾です。よろしくお願ひします。  
事務局は大阪大学豊中キャンパスの法学部本館1階(正面玄関入って右手、右側)の「法高連携支援室」にあります。午前10時～午後4時(11時30分～12時30分昼休み)に在室しています。会員の皆様のご連絡をお待ちしています。

TEL.06-6850-5198 青雲会事務局 西尾 光代(30期)